

R 5 年度多文化共生の担い手連携促進事業 活用事例

《活用事例》

申請団体名（共催団体名）

（公財）長野県国際化協会（中野市）

事業概要

災害多言語支援センター設置・運営訓練と外国人向け防災講座の実施にあたり、地域国際化推進アドバイザーによる講義と訓練全体のコーディネート、ファシリテーション、助言等を行った。

申請区分

多言語支援センターの設置・運営に関する助言及び指導

活用のポイント

地域国際化推進アドバイザー、有識者を派遣。併せて訓練に要する経費も助成金として申請した。ICT ツールの活用を含め、実践的な訓練を通じて災害時対応のイメージを共有することができた。また、他市の職員の参加もあり、今後の展開が期待できる。さらに、総務省国際室の視察もあり、室としても今後の災害時対応の改善点が見つかったとのことだった。

事業の様子



防災講座の様子



災害多言語支援センター設置訓練の様子